

様式第3号(第12条関係)

会 議 録

会 議 の 名 称	第2回吉川市スポーツ推進計画策定委員会
開 催 日 時	令和3年8月3日(火) 午前10時00分 から 正午まで
開 催 場 所	吉川市役所202・203会議室
出席委員(者)氏名	向山昌利委員、小山健一委員、岡田良訓委員、伊藤幸司委員、 若島司委員(代理 水原康賀氏)、伊東孝委員、星座正俊委員、 岡田宏美委員、戸張計子委員、松岡伸悟委員、豊田正一委員、 加藤芙幸委員、薄田千枝子委員、松井希世子委員 [オブザーバー] 大和田勝美氏 [基調講演講師] 株式会社丸和運輸機関 蜂谷隆 様 福留諒佑様
欠席委員(者)氏名	西野亜希委員
担当課職員職氏名	小林健康長寿部長、酒匂スポーツ推進課長、森田スポーツ推進 課長補佐兼スポーツ推進係係長、田中スポーツ推進課主事
会議次第と会議の公開又は非公開の別	1 開会 2 委員長あいさつ 3 基調講演 4 議事 (1) 計画策定におけるスポーツの定義について (2) 課題の整理 (3) 施策体系例紹介 (4) 基本理念の検討(※グループ討議) 5 その他 6 閉会
非公開の理由 (会議を非公開にした場合)	
傍聴者の数	0名

<p>会議資料の名称</p>	<p>資料1 スポーツの定義について</p> <p>資料2 事前調査票課題一覧</p> <p>資料3 課題の整理・施策体系列</p> <p>資料4 基本理念について</p> <p>参考資料1 第1回策定委員会における調査要請データ</p> <p>参考資料2 当日出席者名簿</p> <p>参考資料3 席次表</p>
<p>会議録の作成方法</p>	<p><input type="checkbox"/>録音機器を使用した全文記録</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>録音機器を使用した要点記録</p> <p><input type="checkbox"/>要点記録</p>
<p>会議録確認指定者</p>	<p>伊東孝委員、薄田千枝子委員</p>
<p>その他の必要事項</p>	

審議内容(発言者、発言内容、審議経過、決定事項等)	
1 開会	
2 委員長あいさつ	<p>最初に吉川市スポーツ推進計画の策定委員会の目的と今日の会議のゴールを共有したい。</p> <p>まず吉川市スポーツ推進計画の策定委員会の目的について、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本委員会の目的は吉川市スポーツ推進計画を策定すること</li> <li>・吉川市スポーツ推進ビジョンに基づいて策定を進めていくこと</li> <li>・基本理念と施策体系を策定すること</li> <li>・立案された計画は冊子となって配布されること</li> <li>・計画に基づいて吉川市の施策が進められること</li> <li>・様々な分野の知恵を出し合って、スポーツの発展と地域の発展を両立できる計画を作っていくこと</li> </ul> <p>次に、今日の会議のゴールについて、コナミスポーツ株式会社、株式会社丸和運輸機関、から基調講演をいただき、本日基本理念の具体的なイメージを考えることを予定しているが、ゴールに繋がる情報が聞けるため、それを見越して話を聞いていただき、最後はグループ討議で具体的なイメージを共有していきたい。</p>
3 基調講演	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コナミスポーツ株式会社 水原康賀様より講演 【参考】コナミスポーツ株式会社作成資料 「コナミスポーツご紹介」</li> <li>・株式会社丸和運輸機関 蜂谷隆様より講演 【参考】株式会社丸和運輸機関作成資料 「株式会社丸和運輸機関」「丸和ラグビーフットボールクラブ」</li> </ul>
4 議事 委員長	本日出席委員は15名中14名。

<p>事務局</p>	<p>本日の会議録の署名委員に伊東孝委員、薄田千枝子委員を指名する。 今日の会議の目的とゴールを改めて説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本委員会は吉川市スポーツ推進ビジョンに基づいて吉川市スポーツ推進計画を策定すること</li> <li>・策定した計画が冊子となり配布されること</li> <li>・策定した計画に基づいて吉川市の施策が進められること</li> <li>・具体的に議論できるのは本日の会議含めてあと2回であること</li> <li>・本日は吉川市スポーツ推進ビジョンを基に基本理念を検討していく</li> <li>・吉川市スポーツ推進ビジョンが抽象的になっているため、本会議で具体化し、どういう施策にしていくのか、イメージを共有することが本日のゴールであること</li> </ul> <p><b>(1) 計画策定におけるスポーツの定義について</b></p> <p>スポーツの定義について、スポーツという概念の基ではない分野の仕事の中で、スポーツという概念をどう結び付けるのかが捉えにくいという意見があったため、改めてイメージを共有したい。</p> <p><b>「資料1 スポーツの定義について」を説明</b></p> <p>競技スポーツはもとより、朝の体操やランニング、スポーツ観戦やイベントスタッフ、Eスポーツ、家事や掃除まで、「する」「みる」「ささえる」いろいろな形で誰もが気軽に楽しめるものをスポーツとして定義していきたい。</p> <p>また、スポーツの多様性も重視していきたい。障がい者スポーツ、ニュースポーツ、長寿支援課が進めている地域型なまらん体操もスポーツに取り入れていきたい。そして、スポーツを何か効果があることに手段として利用していくこと、例えば、仲間づくりや健康増進のためにスポーツを手段として行うことも計画を策定する上で大きな考えとなる。</p>
------------	---

事務局	<p><b>(2) 課題の整理</b></p> <p>「資料2 事前調査票課題一覧」参照</p> <p>「資料3 課題の整理・施策体系例」参照</p> <p>(事前資料として送付しているため、説明は省略)</p> <p>一点だけ、健康増進課より「働く世代」の「特定検診を受けている人の中でBMIが25以上の人が県内でも吉川市は多い。(メタボが多い)」ということ、このようなことも認識し、吉川市の健康増進を図っていきたい。</p>
事務局	<p><b>(3) 施策体系例紹介</b></p> <p>「資料3 課題の整理・施策体系例」参照</p> <p>他市の施策体系を例として挙げた。吉川市も先ほどの課題を解決するために、吉川市の力を入れていきたいところを盛り込んでいくために今後体系づくりをしていく。次回の第3回の会議のときに、事務局で素案を組み立ててお示ししたい。</p>
事務局	<p><b>(4) 基本理念の検討</b></p> <p>計画を策定するために、計画全体を貫く基本的な考えが今後必要となる。基本的な考えとして、スポーツ推進についての中長期的な取り組みの考え方を定めた「吉川市スポーツ推進ビジョン」を基本とし、スポーツに関する施策を総合的且つ計画的に推進するためにスポーツ推進計画を策定していく。本日はスポーツ推進ビジョンをどう具体化していくのか、どう施策に移していくのかを進めていきたい。本日のグループ討議でスポーツ推進ビジョンは何を示しているのか、解体作業をしていきたい。前回の会議で委員の皆様から意見をもらう時間がなかったため、今回はグループを3つに分けて、グループ内で意見を出し合っただき、最後にグループごとに発表させていただく。こちらで出た意見は、策定作業を進める上で参考にしていくため協力をお願いしたい。</p>

**【討議内容発表】**

**《グループ①》**

**○豊かな日々の実現**

- ・健康な生活を送ることができる
- ・要介護状態にならない  
→生涯を通して体、心身を健康に保つことができる
- ・心と体の調和がとれている（人は体を動かすことによってポジティブになる！）
- ・やりがいや役割を持てる

**○コミュニティの醸成**

- ・顔の見える関係をつくる
- ・（スポーツや趣味を通して人と人が触れ合うことによって）仲間意識の醸成を図ることができる  
※きっかけ作りとして、誰でも気軽に、手軽に参加できる環境が大事。一度参加すると、ずっと続けなくてはいけない集まりには参加しづらい。例：きよみ野地区が出来た時の「綱引き大会」は大いに盛り上がり、コミュニティを築くイベントとしては大成功だった。

**○地域の活性化**

（地域の活性化はゴールの一つとして捉えた方がイメージしやすい）

- ・実効性のある計画を作成し、継続的に実施していくことで地域の活性化が図れる  
例：健康の保持増進を図ることで社会保障費が抑制され、その結果地域の活性化が図れる

**○（参加できる）機会（の確保）**

- ・場 所…交通の便が確保できる。身近な場所にある。天気に左右されない。収容人数に制限がない
- ・時 間…参加しやすい時間
- ・年齢等…子どもや障がい者だけで参加できる環境
- ・情 報…必要とする人に情報を届ける

例：「(仮称)吉川スポーツアプリ」プッシュ通知等を活用し、対象とする世代へダイレクトに発信

#### ○横断的にスポーツ推進を図る

- ・スポーツ推進課と丸和運輸機関ラグビー部が連携し、市内の子どもたちを試合観戦に招待  
→本格的なスポーツを観戦することで、可能性や自己実現を実感できる機会を提供する
- ・スポーツ推進委員と老人福祉センターが連携し、ニュースポーツの出前講座を開催  
→普段通り慣れた場所で開催することで、参加しやすい環境を整える。推進委員が参加者の様々な体の状態に合わせてメニューを提供できる。(ボッチャなど)

#### ○幸福実感の向上

- ・達成感を得る
- ・喜びを感じる
- ・生きがいを感じる
- ・心と体の調和が図れる

### 《グループ②》

#### ○豊かな日々の実現

- ・笑顔
- ・不安がない
- ・気分転換

#### ○コミュニティの醸成

- ・相手を理解する
- ・世代間交流

#### ○地域の活性化

- ・国体や高校総体で実施した「ハンドボール」
- ・地元企業スポーツの応援「ラグビー」
- ・企業誘致

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親から子、孫へ繋げていく「絆」</li> </ul> <p>○(参加できる)機会(の確保)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯にわたり活動できる場所</li> <li>・有名な選手を呼んだイベントの定期的な開催 →モチベーションの向上</li> <li>・ちょっとした家事や通勤もスポーツ→身近なものがスポーツ→スポーツをやらない人も身近に感じる</li> </ul> <p>○横断的にスポーツ推進を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学生と高齢者</li> </ul> <p>○幸福実感の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感動</li> <li>・生涯スポーツ→継続する→モチベーションの向上</li> </ul> <p><b>《グループ③》</b></p> <p>○豊かな日々の実現</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標をもって達成すること</li> <li>・やることがあることの嬉しさ</li> <li>・成長しながら過ごすこと</li> <li>・仲間と共有すること(共有できる時間があること)</li> </ul> <p>○コミュニティの醸成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな活動をする→知り合いが増える→また別の場所でも繋がっていく→人の輪が広がる</li> <li>・会社以外の人と繋がれる機会</li> <li>・部活動は他市の練習試合で人と繋がり親も繋がる</li> </ul> <p>○地域の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上記のコミュニティの醸成ができれば自然に活性化する</li> <li>・学校でやるイベント(運動会など)や部活動が盛り上がると地域の機運も盛り上がる</li> </ul> <p>○(参加できる)機会(の確保)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・GO!スポーツ(誰でも参加できるイベント)の周知</li> </ul>
--	--

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツに触れる機会がないと良さがわからないため、機会をつくれると良い</li> <li>・大人数が参加するものだけではなく、一人からできる運動の機会があると良い</li> </ul> <p>(イベントに関して)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・費用がかからないこと</li> <li>・またやりたいと思える内容の充実</li> <li>・駐車場があること</li> </ul> <p>○横断的にスポーツ推進を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校と行政が繋がること (学校側はやりたい)</li> <li>・イベントのオープニングイベントで未就学児の音楽の演奏などを行うこと</li> <li>・少年センターが授業で卓球をやっていた際に、隣で活動していた卓球団体が教えてくれた (こういう繋がりはとても嬉しかった)</li> </ul> <p>○幸福実感の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・勝ち負けの機会をつくること <ul style="list-style-type: none"> <li>→勝つと嬉しいし負けると悔しい、悔しいともっと練習したいと思う</li> <li>→障がいの人は勝ち負けをつくらないとかあるが、勝ち負けを経験するのも楽しみの一つ</li> </ul> </li> <li>・達成感を得ている人を見ていることも幸福実感となる (家族など)</li> </ul>
委員長	事務局は、本日上がった具体的イメージを整理して、基本理念と施策体系の案をつくっていただきたい。
事務局	最後の基本理念の意見についても駆け足の発表になったため、皆さんに共有できるように発信していく。
5 その他 事務局	次回の会議は、10月15日(金)午前10時から市役所202・2

<p>6 閉会 副委員長</p>	<p>03会議室で第3回策定委員会を開催する。</p> <p>2社から基調講演を聞いて、スポーツに対しての見方や考え方が変わったのではないかと。また、企業が地域に貢献したいというのは新しい芽がでてきたと思う。グループ討議も密度の濃い話ができ、次に繋がる会議になった。次回もよろしくお願いいたします。</p>
<p>以上、会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。</p> <p>令和3年8月26日</p> <p>署名委員 伊東 孝                      署名委員 薄田 千枝子</p>	